

## お客様との対話

ADEKAグループでは、お客様との積極的な対話を通じて、社会の役に立つ製品の開発を目指しています。各拠点には営業担当の他にテクニカルサービス員が常駐し、お客様とのやりとりから吸いあげた潜在的なニーズや課題を横断的に共有・検討することで、新製品の開発に繋げています。また、当社以外の製品を含めた配合や処方方をトータルしてご紹介するなど、素材メーカーとして、お客様への価値向上に努めています。

さらに当社では、研究所の枠を越えた価値創出の

取り組みを進めています。2017年度は5つのテーマ(合成技術、乳化・分散・粉体技術、高純度化・分析技術、ポリマー技術、配合・加工技術)についての討論会や、研究開発の進捗を報告し合うポスター発表を実施し、各専門分野の知識共有を行いました。



オランダでの化粧品展示会

社内技術ポスターセッション

## KAIZEN活動でつなぐ「4つの安全」



ADEKAグループが持続的に発展するためには、「4つの安全」(労働・品質・設備・環境)をもとに安全・安心をお客様へお届けし続けることが使命である、との認識が国内外に浸透しています。年2回開催する改善事例発表会では、年々海外グループ会社の参加が増加しており、2017年度は過去最多の6社が参加しました。

### 4つの安全

#### 労働安全

“労働災害ゼロ”を実現するためKY(危険予知)活動などにより潜在リスクを排除します。若手や異動した従業員に対してはベテランによる技術や安全の継承を行い、持続的なKAIZEN意識を高めています。従業員が安全かつ健やかに従事できるよう、常に職場環境のKAIZENは欠かせません。

#### 品質安全

品質に関する潜在的なトラブルから「真の原因」を突き止め、KAIZENし、顕在化トラブルを徹底的に撲滅します。さらに、サプライチェーン全体の管理を確実にし、化学物質管理やフードセーフティには特に目を光らせています。

#### 設備安全

災害リスクを把握し設備の老朽化対策を計画的に講じることで、重大事故を撲滅し事業の継続性を図ります。緊急時の対応手順を理解しブラッシュアップさせ、いつ・誰が・どこでも適切な判断を下せるよう保安力向上を図ります。

#### 環境安全

サプライチェーン全体に関わる地球環境および生物多様性への影響を把握し、最小限にとどめます。また、温室効果ガスや揮発性物質など、環境および人体へ影響を及ぼすすべての排出・発生量の削減を推進します。

### VOICE

#### フォークリフト自動化による労働安全

ADEKA POLYMER ADDITIVES EUROPE SAS  
Ludovic Fleury



フォークリフトは工場にとって必要不可欠である一方で、たくさんの危険リスクが潜んでいます。当社はこれまで、歩行者とフォークリフトの道路の分離や視認性の改善など多くの予防措置を講じたり、映像を利用した安全トレーニングを行うなど、日々安全性の向上に取り組んできました。この度、さらなるKAIZEN策として、画期的なフォークリフトの自動システムを導入しました。フォークリフトが危険エリアや従業員を感知すると、自動的に減速する仕組みになっており、従来より潜在的なリスクを排除することができました。このKAIZENは、フランス南部の生産工場において初めての試みであり、労働安全当局から安全モデル事例として取り上げられました。



## 株主・投資家の皆様とともに

ADEKAグループは、日頃から期待を寄せられている株主・投資家の皆様とのコミュニケーションが重要であると考え、適正かつ公正な情報開示に努めるとともに、事業活動を通じた企業価値の最大化に努めています。

### 株主・投資家の皆様との対話

#### ● 適正な情報開示

当社は、「ディスクロージャーポリシー」に基づき、すべてのステークホルダーに正確な会社情報を適時・適正かつ公正に開示するよう努めています。さらにADEKAへのご理解を深めていただくため、事業計画などの経営に関する重要情報を積極的に開示しています。また、決算発表日前の一定期間に「沈黙期間」を設け、決算に関するコメントを控えさせていただき、決算前の未確定情報の伝達は一切行いません。ただし、決算内容が株主・投資家の皆様に大きく影響を及ぼすと判断した事項に関しては、適宜、情報の開示を行います。

ディスクロージャーポリシー  
<https://www.adeka.co.jp/ir/disclosure/>

#### ● 株主総会

ウェブサイトでの早期開示や集中日を避けた株主総会の開催など、株主の皆様が適正な権利行使を行える環境を整備し、対話の促進に努めています。また、海外の株主様がスムーズに議案を検討いただけるよう、2018年6月開催の定時株主総会では英語版の招集通知をウェブサイトに掲載しました。



第156回定時株主総会

#### ● IR活動

機関投資家・アナリストに向けた決算説明や決算説明ツールの発行など、積極的なIR活動を推進しています。2017年度は、半期ごとの決算説明会に加え、134回のIRミーティングを実施しました。

#### ● SRIインデックスへの組み入れ

当社は、CSRへの取り組みなどを投資判断とするSRI(社会的責任投資)インデックスに組み入れられています。

- ・MSCI日本株女性活躍指数(WIN)
- ・SNAMサステナビリティ・インデックス



#### ● 利益の還元

株主の皆様への利益還元は、経営環境や業績、財務状況などを総合的に勘案し適正に行っています。内部留保資金は、株主の皆様のご理解をいただきながら経営基盤の強化や中長期的視野に立った成長事業領域への投資などに、優先的に活用してまいります。

#### ▶ 年間配当金の推移

